

生涯教育研修会報告書

病理・細胞検査研究班

学発番号 12-062

平成25年2月16日

報告者

所属 宇治徳洲会病院

氏名 江口 光徳

連絡先 0774-20-1111 (代)

会員番号 264509-0255

行事名：病理・細胞検査分野 講演会

日時：平成25年2月16日 土曜日 14:00～17:00

会場：京都府立医科大学 基礎医学学舎 第1講義室

主題1：平成24年度 病理検査精度管理報告及び解説

講師所属：京都府立医科大学 病理学教室

講師名：奥田 崇技師

主題2：平成24年度 細胞診検査精度管理報告及び解説

講師所属：(株)ジェ・シ・アル

講師名：谷村 満知子技師

主題3：アミロイド染色について

講師所属：神戸大学医学部附属病院

講師名：山田 實技師

主題4：次回精度管理調査に向けて ～乳腺細胞診の見方、考え方～

講師所属：民医連中央病院

講師名：神崎 由佳技師

分類：専門 検体検査-20点

全体参加人数：17人（京臨技のみ2人、賛助会員1名）

以下、講演内容など

今回の講演会は前半に平成24年度の精度管理報告及び解説を、病理分野と細胞診分野のそれぞれの精度管理委員より報告していただいた。病理分野では今回はアミロイド染色について各施設にスライドグラスを送り、染色をしてもらい鏡検判定を行った。アミロイド染色はいくつかの方法があり、染色結果に若干の差が出ていたがC判定の施設はなく、

概ね良好であった。武藤化学よりアミロイド染色試薬のコンゴー赤液とD F S 試薬のサンプルを提供いただいたので、各施設検討してみようと思う。細胞診部門では10問の評価問題で参加施設はほぼ正解であった。評価対象外の教育的設問では2問出題したが、1問出題者側の意図がうまく伝わらず、集計の対象外とした。

後半では神戸大学医学部附属病院の山田 實技師より今回の精度管理で取り上げたアミロイド染色について講演をいただいた。アミロイドについての基礎知識から色々な検討結果にいたるまで、詳しく講演いただき良く理解できた

最後に民医連中央病院の神崎 由佳技師より来年度の精度管理を見据えた講演をしていただいた。乳腺細胞診を講演いただいたが、多くの疾患の細胞像を提示し解説していただいた。初めての試みだが今回講演いただいた症例の中から、来年度の精度管理に何問か出題することを検討している。

全体的に非常に勉強になる良い講演会であり、今後の業務にも活かしていこうと思う。